



平成17年3月期 第1四半期 財務・業績の概況（連結）

平成16年8月2日

上場会社名 株式会社 常陽銀行 (コード番号：8333 東証第1部)
 (URL <http://www.joyobank.co.jp/>)

問合せ先 代表者役職・氏名 取締役 頭取 澁谷 勲
 責任者役職・氏名 執行役員経営企画部長 寺門 一義 TEL (029) 300-2604

本開示資料に記載する数値は、監査法人による監査を受けておりません。

1. 四半期財務情報作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 有
 (貸倒引当金の計上)

当行及び連結子会社は、平成16年6月末で自己査定を実施し貸倒引当金を計上しております。引当率については16年3月期に使用した率を適用しております。また、破綻先及び実質破綻先に対する担保・保証付債権等については、債権額から担保の評価額及び保証による回収が可能と認められる額を控除した残額を取立不能見込額として債権額から直接減額する処理(部分直接償却)に代えて、同額を個別貸倒引当金として計上しております。

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 無

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 無

2. 平成17年3月期第1四半期財務・業績の概況(平成16年4月1日～平成16年6月30日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	経常収益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年3月期第1四半期	44,710	-	14,199	-	8,726	-
16年3月期第1四半期	-	-	-	-	-	-
(参考)16年3月期	169,176	2.1	30,673	116.9	23,675	185.1

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
17年3月期第1四半期	10 47	10 46
16年3月期第1四半期	-	-
(参考)16年3月期	28 08	-

(注)当第1四半期より四半期決算の開示を行っているため、前年同四半期実績及び増減率については記載しておりません。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり 株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年3月期第1四半期	7,170,133	406,993	5.7	488 25
16年3月期第1四半期	-	-	-	-
(参考)16年3月期	7,056,646	408,131	5.8	489 60

(注)当第1四半期より四半期決算の開示を行っているため、前年同四半期実績については記載しておりません。

- ・総資産は、貸出金の増加を主因に16年3月期比1,134億円増加しました。
- ・株主資本は、期間利益の計上により利益剰余金は増加しましたが、株式等評価差額金が減少したことにより、16年3月期比11億円減少しました。
- ・これにより、株主資本比率は5.7%、1株当たり株主資本は488円25銭となりました。

3.平成17年3月期の連結業績予想(平成16年4月1日~平成17年3月31日)

平成17年3月期の連結業績予想につきましては中間期、通期ともに変更ございません。

添付資料

(要約)四半期連結貸借対照表、(要約)四半期連結損益計算書、平成16年度第1四半期決算説明資料

以上

(要約) 四半期連結貸借対照表

株式会社 常陽銀行

(単位:百万円)

科 目	当四半期(A) (平成17年3月期 第1四半期末)	前四半期(B) (平成16年3月期 第1四半期末)	比 較 (A) - (B)	(参考) 平成16年3月期末 (C)	比 較 (A) - (C)
(資産の部)					
現金預け金	149,545			184,550	35,005
コールローン及び買入手形	48,502			9,555	38,947
買入金銭債権	49,512			42,421	7,091
特定取引資産	10,412			14,714	4,302
有価証券	2,263,718			2,255,587	8,131
貸出金	4,413,551			4,320,503	93,047
外国為替	2,528			1,561	966
その他資産	69,270			62,691	6,579
不動産	128,320			128,131	189
繰延税金資産	51,649			52,003	353
支払承諾見返	51,582			51,612	30
貸倒引当金	68,194			66,420	1,773
投資損失引当金	267			266	1
資産の部合計	7,170,133			7,056,646	113,487
(負債の部)					
預渡性預金	6,245,339			6,061,953	183,386
譲渡性預金	194,037			98,301	95,735
コールマネー及び売渡手形	27,311			107,795	80,483
債券貸借取引受入担保金	62,346			153,381	91,035
特定取引負債	22			3	19
借入金	93,029			93,601	572
外国為替	399			197	202
社債	15,000			15,000	0
信託勘定借	7			14	7
その他負債	52,883			45,747	7,136
退職給付引当金	6,869			6,964	95
その他の偶発損失引当金	243			143	100
再評価に係る繰延税金負債	10,013			10,013	0
支払承諾	51,582			51,612	30
負債の部合計	6,759,084			6,644,728	114,355
(少数株主持分)					
少数株主持分	4,055			3,786	269
(資本の部)					
資本金	85,113			85,113	0
資本剰余金	58,574			58,574	0
利益剰余金	212,114			205,464	6,650
土地再評価差額金	14,821			14,821	0
株式等評価差額金	46,991			54,770	7,778
自己株式	10,620			10,611	9
資本の部合計	406,993			408,131	1,137
負債、少数株主持分及び資本の部合計	7,170,133			7,056,646	113,487

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

平成16年3月期第1四半期末の計数は、四半期決算を実施していないため記載しておりません。

(要約) 四半期連結損益計算書

株式会社 常 陽 銀 行

(単位:百万円)

科 目	当四半期(A) (平成17年3月期 第1四半期)	前四半期(B) (平成16年3月期 第1四半期)	比 較 (A) - (B)	(参考) 平成16年3月期
経 常 収 益	44,710			169,176
資 金 運 用 収 益	29,629			116,963
(うち貸出金利息)	(20,934)	()	()	(85,017)
(うち有価証券利息配当金)	(8,453)	()	()	(31,376)
信 託 報 酬	12			31
役 務 取 引 等 収 益	6,148			21,429
特 定 取 引 収 益	126			181
そ の 他 業 務 収 益	612			4,727
そ の 他 経 常 収 益	8,180			25,843
経 常 費 用	30,511			138,503
資 金 調 達 費 用	2,786			11,570
(うち預金利息)	(583)	()	()	(2,729)
役 務 取 引 等 費 用	1,708			5,639
そ の 他 業 務 費 用	541			2,550
営 業 経 費	18,668			74,358
そ の 他 経 常 費 用	6,806			44,384
経 常 利 益	14,199			30,673
特 別 利 益	788			10,705
特 別 損 失	272			1,249
税金等調整前四半期(当期)純利益	14,715			40,129
法人税、住民税及び事業税	123			454
法人税等調整額	5,603			15,589
少数株主利益	261			409
四 半 期 (当 期) 純 利 益	8,726			23,675

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

平成16年3月期第1四半期の計数は、四半期決算を実施していないため記載しておりません。

平成 16 年度 第 1 四半期決算説明資料

1. 損益の状況【単体】

- ・ 16年度第1四半期の業務純益は138億円、経常利益は138億円、四半期純利益は87億円となりました。
- ・ 16年度中間期業績予想値に対し、業務純益は50%、経常利益および四半期純利益は70%を上回る進捗状況となりました。

(単位：百万円)

科 目	平成 16 年度 第 1 四半期 (実績 3 カ月間)	平成 16 年度 中 間 期 (予想値 6 カ月間)	平成 15 年度 中 間 期 (実績 6 カ月間)
業 務 粗 利 益	30,490		60,674
資金利益	26,901		52,077
役務取引等利益	3,392		6,082
特定取引利益	126		10
その他業務利益	70		2,525
(うち国債等債券損益)	161		2,043
経 費	18,124		36,467
一般貸倒引当金繰入額	1,512		2,627
業 務 純 益	13,878	25,000	21,579
コア業務純益	12,527		22,163
臨時損益	32		7,615
うち不良債権処理額	2,961		8,128
うち株式等関係損益	2,759		1,286
経 常 利 益	13,846	18,000	13,963
特 別 損 益	454		2,063
税引前四半期(中間)純利益	14,300		16,027
法人税等(法人税等調整額を含む)	5,591		6,566
四半期(中間)純利益	8,709	11,000	9,460

コア業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券損益

2. 「金融再生法ベースの категорияによる開示」【単体】

- ・16年6月末の金融再生法ベースの開示額は、16年3月末比129億円減少の1,870億円となりました。
- ・また、不良債権比率は4.14%と16年3月末比0.38%低下し、資産の健全性が一段と向上しました。

	(参考)		(単位：億円,%)
	平成16年6月末	平成16年3月末	増減
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	254	272	17
危険債権	867	908	41
要管理債権	748	819	71
小計(A)	1,870	2,000	129
正常債権	43,287	42,200	1,086
合計(B)	45,158	44,201	957
不良債権比率(A)/(B)	4.14	4.52	0.38

(注) 上記の平成16年6月末の計数は、6月末を基準日として、資産の自己査定基準に基づき自己査定を実施して算出した計数であります。

なお、新たに「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」と認められる金額のうち、無価値と認められる部分については直接償却相当額として当該金額を減額しております。

3. 自己資本比率(国内基準)【連結】

- ・16年6月末の連結自己資本比率は11.45%と引続き高い水準にあり、国内基準として求められる4%を大幅に上回っております。
- ・なお、当四半期からは、実績値を開示しております。

	(単位：億円,%)
	平成16年6月末(実績)
連結自己資本比率	11.45
(Tier 比率)	9.05
Tier	3,471
Tier	921
控除項目	1
自己資本	4,391
リスク・アセット	38,353

	(単位：億円,%)
	平成16年3月末(実績)
連結自己資本比率	11.39
(Tier 比率)	8.97
Tier	3,402
Tier	918
控除項目	1
自己資本	4,319
リスク・アセット	37,907

4. 時価のある有価証券の評価差額【単体】

・16年6月末のその他有価証券の評価差額（時価と帳簿価額との差額）は、787億円の評価益となっております。

(単位：億円)

	平成16年6月末			
	時価	評価差額	うち	
			益	損
その他有価証券	22,293	787	936	149
株式	1,803	688	702	14
債券	12,815	9	118	109
その他	7,673	89	114	25

(参考) (単位：億円)

	平成16年3月末			
	時価	評価差額	うち	
			益	損
	22,167	917	1,038	120
	1,839	709	726	16
	12,815	48	144	96
	7,511	159	167	7

- (注) 1. 平成16年6月末の「評価差額」および「含み損益」は、平成16年6月末時点の帳簿価額（償却原価法適用後、減損処理後）と時価との差額を計上しております。
2. 有価証券のほか、信託受益権および出資金も含めております。
3. なお、満期保有目的の債券、子会社・関連会社株式に係る含み損益は以下のとおりであります。

(単位：億円)

	平成16年6月末			
	帳簿価額	含み損益	うち	
			益	損
満期保有目的の債券	645	14	15	0
子会社・関連会社株式	-	-	-	-

(参考) (単位：億円)

	平成16年3月末			
	帳簿価額	含み損益	うち	
			益	損
	357	18	18	0
	-	-	-	-

5. デリバティブ取引【単体】

・当行のデリバティブ取引はヘッジ目的のための取引が大半であり、ヘッジ目的以外の取引に係る評価損益は僅かであります。

(1) 金利関連取引

(単位：億円)

区分	種類	平成16年6月末		
		契約額等	時価	評価損益
取引所	-	-	-	-
店頭	金利スワップ	55	0	0
	その他	12	0	0
	合計			0

(参考) (単位：億円)

平成16年3月末		
契約額等	時価	評価損益
-	-	-
31	0	0
4	0	0
		0

(注) ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は、上記記載から除いております。

(2) 通貨関連取引

(単位：億円)

(参考)

(単位：億円)

区分	種類	平成 16 年 6 月末		
		契約額等	時価	評価損益
取引所	-	-	-	-
店頭	通貨スワップ	210	0	0
	為替予約	17	0	0
	通貨オプション	695	0	1
	合計			1

平成 16 年 3 月末		
契約額等	時価	評価損益
-	-	-
182	0	0
32	0	0
686	0	1
		1

(注)ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は、上記記載から除いております。

(3) 債券関連取引

(単位：億円)

(参考)

(単位：億円)

区分	種類	平成 16 年 6 月末		
		契約額等	時価	評価損益
取引所	債券先物	30	0	0
	債券先物オプション	13	0	0
店頭	-	-	-	-
	合計			0

平成 16 年 3 月末		
契約額等	時価	評価損益
5	0	0
-	-	-
-	-	-
		0

(注)ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は、上記記載から除いております。

(4) 株式関連取引、商品関連取引、クレジットデリバティブ取引

該当ありません

6. 預金・貸出金等の状況【単体】

- ・ 16年6月末の預金残高は6兆2,542億円で、個人預金を中心に引続き堅調に増加しており、16年3月末比1,828億円増加となりました。
- ・ 投資信託等の預り資産は、お客様の資産運用ニーズに積極的に対応した結果、投資信託、国債等が堅調に増加しました。また、年金保険も着実に取扱高が増加しました。
- ・ 16年6月末の貸出金残高は4兆4,585億円で、住宅ローンを中心とした個人向け貸出の増加等により、16年3月末比945億円増加となりました。うち中小企業向け貸出金は、公共工事引当貸の返済等の季節要因により、16年3月末比326億円減少しました。なお、15年6月末比では96億円増加しております。
- ・ 消費者ローンは、住宅ローンが堅調に推移したことから、16年3月末比139億円増加しました。

(1) 預金

(参考)

(単位：億円)

	平成 16 年 6 月末	平成 16 年 3 月末	増 減
総預金	62,542	60,714	1,828
うち個人預金	47,539	46,568	970

(注) なお、投資信託等の預り資産の状況は下記のとおりであります。

(参考)

(単位：億円)

	平成 16 年 6 月末	平成 16 年 3 月末	増 減
投資信託	1,240	1,093	146
外貨預金	1,135	1,144	8
国債等	1,838	1,537	301
合 計	4,214	3,775	439
年金保険(保険料収入 [△] - [△])	760	684	75

(2) 貸出金

(参考)

(単位：億円)

	平成 16 年 6 月末	平成 16 年 3 月末	増 減
総貸出金	44,585	43,639	945
うち中小企業向け貸出金	18,942	19,269	326
消費者ローン	10,487	10,348	139
うち住宅ローン	7,311	7,189	122

(注) 1 . 平成 16 年 6 月末については当四半期分の部分直接償却は実施しておりません。

2 . 貸出金のうち、「中小企業向け」は、「中小企業基本法」の「企業規模別区分の基準」により計上しております。

以 上